

問1 日本の社会保障制度の一環である「公的扶助」に関する説明として、制度の目的や仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2020年

大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 予防接種や公害対策、環境衛生の整備を通じて、国民の健康を維持・増進する仕組みである。 | 2. 生活に困窮する人々に対し、全額公費によって最低限度の生活を保障し、自立を支援する仕組みである。 | 3. 障害者や高齢者、子供などに対して、施設での保護や相談、介護などのサービスを提供する仕組みである。 | 4. あらかじめ労働者や事業主が保険料を出し合い、病気や失業などのリスクに備える仕組みである。 |
|---|--|---|---|

問2 社会保障の四つの柱の一つである「公的扶助」に関する記述として、その制度の仕組みや目的を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年

青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 生活に困窮する人々に対し、生活保護法に基づき、その困窮の程度に応じて必要な給付を行い、最低限の生活を保障するとともに自立を助ける仕組み。 | 2. 感染症の予防や公害対策、環境衛生の整備など、国民が健康に暮らせるように地域全体の衛生水準を高める仕組み。 | 3. 児童、高齢者、障害者など、社会生活を送る上で支援が必要な人々に対して、施設やサービスを提供する仕組み。 | 4. 国民が病気や失業などのリスクに備え、あらかじめ出し合った保険料を主な財源として給付を行う仕組み。 |
|---|---|--|---|

問3 日本の租税の分類と、その目的や仕組みに関する説明として、正しい記述はどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地域住民の身近な行政サービスを支えるため、固定資産税や住民税のように国に対して直接納めるものを国税と呼ぶ。 | 2. 政府の活動を支えるための中心的な財源として、所得税や法人税のように国に対して直接納めるものを国税と呼ぶ。 | 3. 商品の購入時に支払う消費税は、その税収のすべてが地方公共団体の独自の財源となるため、地方税のみに分類される。 | 4. 相続税は個人の財産を継承する際に発生する税金であり、各市町村が地域の福祉を充実させるために徴収する地方税である。 |
|--|---|---|---|

問4 少子高齢化が日本の社会保障制度、特に国民年金制度に与えている影響とその背景について述べた文として、正しいものはどれか。 (2024年

奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 平均寿命の延伸によって受給者の数が減少傾向にあるため、現役世代が支払う保険料の引き下げに向けた議論が活発化している。 | 2. 出生率の低下によって将来の負担者が減少することが予測されており、現役世代が納める保険料だけでは受給者の年金を賄うことが難しくなっている。 | 3. 若年層の負担を軽減するため、受給者自身の積立金のみで給付を賄う制度へと完全に移行したことで、人口構成の変化による影響は解消された。 | 4. 高齢化によって社会保障給付費が増大しているが、現役世代の人口も同時に増加しているため、制度の持続可能性は高まっている。 |
|---|---|--|--|

問5 日本の社会保障制度は四つの大きな柱で構成されています。このうち、収入が少なく生活に困窮している国民に対し、国や自治体が生活費などを給付することで「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する制度は何と呼ばれますか。 (2019年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 公的扶助 | 2. 社会福祉 | 3. 社会保険 | 4. 公衆衛生 |
|---------|---------|---------|---------|

問6 日本の社会保障制度は、憲法第25条が保障する生存権の理念に基づいています。2000年から2020年にかけての統計によると、15～64歳の生産年齢人口の割合が68.0%から59.5%へと減少し、逆に65歳以上の老年人口が17.4%から28.6%へと増加しています。この人口構成の変化が社会保障制度に与える影響についての記述として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 年少人口の割合が急激に増加したことで、義務教育や児童手当に関する社会保障費が予算の大部分を占めるようになり、高齢者向けの予算が削減されている。 | 2. 国家が個人の生活に介入しない自由権を重視する観点から、老年人口の増加に合わせて社会保障制度を廃止し、すべてを自己責任とする改革が完了した。 | 3. 生存権を保障するために、労働者の団結権を用いた運動が活発化した結果、社会保障費における国民負担率が大幅に低下し、家計が潤っている。 | 4. 支え手となる現役世代の割合が減る一方で、給付を受ける高齢者の割合が増えるため、制度を維持するための財源確保が難しくなっている。 |
|--|--|--|--|

問7 日本の社会保障制度のうち、経済的な理由で生活に困窮する人々に対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するために生活費や教育費などを給付する仕組みを何といいますか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 公的扶助 | 2. 社会福祉 | 3. 社会保険 | 4. 公衆衛生 |
|---------|---------|---------|---------|

問8 日本の社会保障制度の四つの柱のうち、「公的扶助」の説明として、その財源や目的に触れたものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年

兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 乳幼児や高齢者、障がい者などの生活を支えるため、相談や介護などのサービスを提供する仕組みである。 | 2. 感染症の予防や公害対策、環境衛生の整備を通じて、国民全体の健康を維持・増進する仕組みである。 | 3. 生活に困窮する人に対し、税金を財源として最低限度の生活を保障し、自立を助ける仕組みである。 | 4. 国民が事前に保険料を支払い、病気や失業といった将来の不測の事態に備える仕組みである。 |
|---|---|--|---|

問9 日本の税制において、所得税、法人税、相続税などが含まれる区分は、税金を納める義務がある「納税者」と、実際にその税を負担する「担税者」が一致するという特徴があります。このような税の分類を何と呼びますか。 (2026年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|----------|--------|
| 1. 関税 | 2. 間接税 | 3. 地方譲与税 | 4. 直接税 |
|-------|--------|----------|--------|

問10 社会保障の給付と負担のバランスを示す統計において、国民負担率が約8%台と極めて低く、主要先進国の中でも社会保障の給付割合が最も低い水準にある国の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2023年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本のように、少子高齢化の進展に伴って国民負担率を急速に引き上げている。 | 2. スウェーデンのように、高負担によってすべての国民に手厚い公的サービスを提供している。 | 3. ドイツのように、雇用主と労働者が折半して保険料を負担する社会保険方式を主軸としている。 | 4. アメリカのように、個人の自助努力を基本として公的な社会保障をしばらくこんでいる。 |
|---|---|--|---|

問11 消費税などの間接税において、所得の多い人も少ない人も一律の税率で課税される場合、所得の低い人ほど所得に占める税金の負担割合が高くなってしまいう性質を何といいますか。 (2024年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|------------|--------|--------|
| 1. 垂直的公平 | 2. 所得再分配機能 | 3. 逆進性 | 4. 累進性 |
|----------|------------|--------|--------|

問12 社会保障制度の一環として運用されている雇用保険の役割と、その目的に関する説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年

千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 労働者が仕事や通勤中に負傷した際、必要な医療費や休業による損失を補償することで労働者の生活を守る。 | 2. 失業による所得の減少を補い、生活の安定を維持するとともに、ハローワークなどと連携して円滑な再就職を促す。 | 3. 加齢に伴い日常生活に支障が生じた際、本人や家族の負担を軽減するために介護サービスを安価で提供する。 | 4. 老後の生活を支えるため、現役世代から徴収した保険料を原資として、高齢者に定期的な給付を行う。 |
|--|---|--|---|